

道央のものづくり

産業支援事業ガイド

No.13
2025年4月発行

公益財団法人 道央産業振興財団

表紙 恵庭市 花の拠点「はなふる」及び道と川の駅「花ロードえにわ」

産業支援事業ガイド 2025

技術者の育成、ものづくりを支援します！

道央地域《苫小牧市、千歳市、恵庭市、安平町》に所在する
中小企業等が支援事業の対象です（みなし大企業は対象外です）。

《実施要綱は、財団のホームページをご覧ください》

1. 研究開発の支援

申請期限：5月30日（金）17時

【詳細はP3をご覧ください】

中小企業が行う技術開発や技術の活用研究等に要する経費の助成など、
地域の高度技術の研究開発に寄与する事業を実施します。

① 新技術・新製品開発助成事業

中小企業の技術開発・生産技術の促進を図るため、新技術・新製品等の開発、試作品の
製造及び生産工程の合理化・高度化等に要する経費の一部を助成

対象事業

- ・産業化への応用が可能な技術開発事業
- ・市場化が可能な製品開発事業
- ・生産設備の高度化、生産工程の合理化を図る事業

対象経費

原材料費、副資材費、機械装置費、備品費、
外注加工費、技術指導費、委託費、分析依頼費、
デザイン開発費、その他経費



② 技術開発の芽育成助成事業

中小企業の技術開発の促進を図るため、新技術・新製品等の研究開発を行う上で、課題
解決に必要な試作完了までの基礎調査、情報収集及び開発検討に要する経費の一部を助成

対象事業

- ・産業化への応用等の研究開発事業
- ・市場化への可能性等の研究開発事業

対象経費

原材料費、副資材費、機械装置費、備品費、
外注加工費、技術指導費、委託費、分析依頼費、
デザイン開発費、その他経費



2. 製品開発の支援

申請期限：5月30日（金）17時
【詳細は下段をご覧ください】

地域技術の応用や地域資源を活用した製品開発に要する費用の助成など、地域における製品開発を支援する事業を実施します。

①製品開発助成事業

地域の企業等が有する技術の応用による製品化及び商品化を行うため、商品開発、情報収集、販路拡大などの事業を行う中小企業に対し、製品開発に要する経費の一部を助成

対象事業

- ・産業化への応用等の開発事業
- ・市場化への可能性等の開発事業

対象経費

原材料費、副資材費、機械装置費、備品費、外注加工費、技術指導費、委託費、分析依頼費、情報収集費、デザイン開発費、消耗品費他



②地域資源活用助成事業

地域の農産物等の資源を活用した製品・商品開発等の促進を図るため、付加価値の高い製品・商品開発を行う中小企業等に対し、製品開発に要する経費の一部を助成

対象事業

- ・地域の資源を活用した新製品、新商品の開発
※農・畜産・林産・水産・地下資源を活用した事業

対象経費

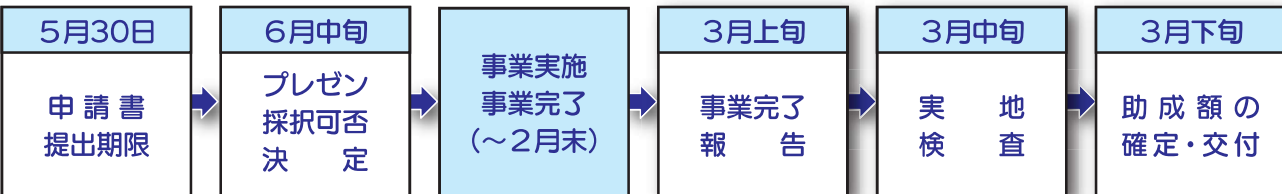
原材料費、副資材費、機械装置費、備品費、外注加工費、技術指導費、委託費、デザイン開発費、消耗品費他



《 助成事業 (P2.P3) の申請書提出期限等について 》

- 1) 申請書の提出期限は、1. 研究開発の支援(P2)、2. 製品開発の支援(P3)を **5月30日(金)17時必着** とし、その他の事業は、お問い合わせください。
- 2) 実施要綱、申請書などは、(公財)道央産業振興財団のホームページから、ダウンロードしてください。

～助成事業（研究開発の支援及び製品開発の支援）の流れ～



■ホームページ

<http://dohgi.tomakomai.or.jp>

■メール

dohgi@ains.tomakomai.or.jp



3. 地域産業活性化の支援

申請に当たってはお問い合わせください

中小企業や団体等が地域の産業活性化のために行う研究活動や交流活動への参画・費用助成など、地域産業の活性化に寄与する事業を実施します。

①ひとづくり・起業支援事業

地域の人材と技術を繋ぐネットワークによるものづくり等の研修・研究活動、ものづくりに関わる人材を育てる活動の支援、地域産業関連の起業への支援のほか、講演事業等を実施する団体等に対し、事業に要する経費の一部を助成

対象事業

- ・ 地域産業関連の起業や地域産業の活性化を目的とする研修・講演等の事業（大学・公設試験研究機関等との連携事業）

対象経費

会場費、講師の招聘経費、印刷費等



助成事業成果事例

● 苫小牧発明研究会 「自然と遊ぼう！エコ遊び！」

2024年7月6日（土）

◎場所：苫小牧オートリゾートアルテン



苫小牧発明研究会は、自然エネルギーや自然環境の大切さ、ものづくりの世界を広く伝えることを目的に「自然と遊ぼう！エコ遊び！」を実施しました。

参加した子供たちは、笹の葉を使った笹舟づくりやイタドリの水鉄砲づくり、小枝を使った木工づくりなどを体験し、作り上げたもので元気よく笑顔で楽しんでいました。



②地域特産品プロジェクト等助成事業

対象事業

- ・ 地域資源を活用した特産品等の商品化事業、地域の産業おこし、ものづくりプロジェクト（大学・公設試験研究機関等との連携事業）

対象経費

会場費、原材料費、技術指導費等



4. 経営の支援

申請に当たってはお問い合わせください

経営に関する指導助言、販路拡大の取組に対する費用助成など、中小企業の経営基盤の安定化、新事業創出等を支援する事業を実施します。

1) 経営管理支援事業

中小企業の経営力の向上、安定を図るため、人事・労務等の実務に係る情報提供や事業継続計画の策定などの支援を行っています。お気軽にお問い合わせください。

2025年1月31日

「働きがいのある職場づくりのセミナー」を千歳市の千歳アルカディア・プラザで開催しました。参加者からは「人材定着の仕組みなど、活用できる情報が得られた」との声がありました。



2) 市場拡大等助成事業

中小企業が販路拡大等を図るため、自ら製作した製品を国内展示会に出展する際の経費の一部を助成します。出展する場合は、あらかじめ業務部へお問い合わせください。

① ビジネスEXPO 2025 への出展

開催時期

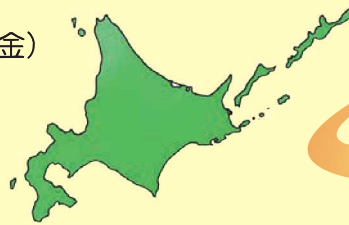
2025年11月6日(木)・7日(金)

開催場所

アクセスサッポロ(札幌市白石区)

対象経費

小間料を助成します。



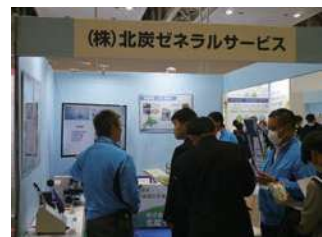
● ビジネスEXPO 2024

道内の中小企業の販路拡大、技術力向上等を目的とし新たなビジネスチャンスの創出を目指した北海道最大級の展示会で、2日間で約21,300人の来場者がありました。

(株)岡田建具製作所、フードテクノエンジニアリング(株)、梨木工業(有)及び(株)北炭ゼネラルサービスの4社が当財団の支援を受けて出展しました。

● 開催日：2024年11月7日(木)・8日(金)

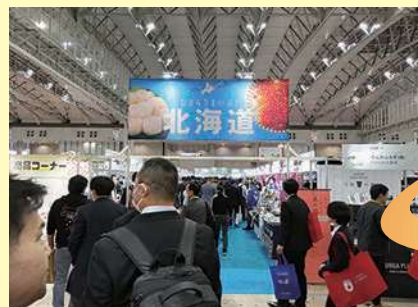
● 開催場所：アクセスサッポロ(札幌市白石区)



② 道外の展示会出展

道外で開催される展示会に出展する場合、20万円を限度に出展小間料を助成します。

※ 年度内1社1回です。



5. 技術者等の育成

申請に当たってはお問い合わせください

各種技術研修等の受講料助成や中小企業の技術者育成に要する費用の助成、専門家による技術支援など、技術者等の育成を支援する事業を実施します。

1) 技術研修助成事業

中小企業等が従業員の技術及び知識の習得に必要な研修等の受講料を助成します。

技術研修助成事業（能力開発セミナーの受講料助成）

対象事業

- ・生産現場の実技研修（機械保全、PLC制御等）
- 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構主催の下記研修会場等で行う能力開発セミナー
（1事業所が同一年度内に受講できる人数に上限があります）



＜研修会場＞

- 北海道職業能力開発促進センター
（ポリテクセンター北海道）
札幌市西区二十四軒4条1丁目4-1
- 北海道職業能力開発大学校
（北海道ポリテクカレッジ）
小樽市銭函3丁目190番地
- 苫小牧市テクノセンター
苫小牧市字柏原32番地の27



研修会場の様子

2) 技術人材研修助成事業

地域内の中小企業や研究者が人材育成及び技術習得のため、道内外の研究・研修機関で実施する研修会等への派遣、工場等における社内研修に対し、その経費の一部を助成します。

①技術者等人材研修助成事業

対象事業

- ・大学、企業等における研究・研修機関等で行う研修
3日間以上の研修（1企業1名のみ）
交通費、宿泊費、研修参加費の10/10以内を助成

※ 中小企業大学校旭川校で行う3日以上研修も対象となります。



②工場等社内研修助成事業

対象事業

- ・工場等社内で実施する研修
対象人員の半数以上が受講する研修
講師の招聘経費（交通費、宿泊費、謝金）の
10/10以内を助成



3) 専門家派遣助成事業

申請に当たってはお問い合わせください

中小企業が経営革新または経営課題の解決、生産技術の課題の解決などを図るため、必要な専門的知識と実務経験を有する専門家から指導、助言等を受けるために要する経費の一部を助成します。

対象事業

- ・経営及び技術上の課題解決を図るため専門家の指導及び助言を受けるために行う事業

専門家の技術指導料・交通費・宿泊費の 10/10 以内を助成



6. 産業力強化支援

技術コーディネート事業

ものづくり基盤技術の高度化を図るため、技術相談・助言・技術開発及び製品化等のコーディネート活動、技術力・生産性向上の支援や各種補助制度の紹介、申請支援等を行います。

〈主な活動内容〉

- ・技術相談及び助言等の支援活動
- ・産学官情報交流等の活動
- ・産業支援機関等との連携活動
- ・国等のものづくり事業等への支援活動

2023 年度 技術開発の芽育成助成事業の成果事例

事業名：乳牛用サプリメントの新規開発

事業者 MFフィード株式会社

住 所 苫小牧市真砂町38番地 5

電 話 (0144)56-2102

U R L <https://mfffeeds.com/>

乳牛の遺伝的改良が進展することにより、1頭当たりの生乳生産量が増加傾向となっており、乳牛の健康維持のため現状に見合った栄養補給が求められていました。一方で飼料価格の高騰などによって、酪農経営にとって厳しい状況が続いています。

このことから、乳牛に給与するサプリメントの内容成分を最新の栄養学知見に基づき見直しするとともに、使用する主原料の「リン酸カルシウム」や「酸化マグネシウム」の成分量を変えることなどで、現乳牛に適した栄養素を供給するだけでなく、乳牛の飼養コスト（同社試算：削減費1頭あたり1～2円/日）削減も見込まれ、酪農経営の効率化や改善にも寄与できるものです。



新規開発サプリメント（粉状）



新規開発サプリメント（ペレット状）



2024 年度 研究開発助成・人材育成及び支援事業の概要・実績

事業名	事業者
★ 新技術・新製品開発助成事業	
高性能自立型壁面パネルヒーターの開発	(株)ナカガワ工業 恵庭市
リアルタイムで寒冷地における水位を監視するクラウドシステムの開発	(株)ハイテックシステム 恵庭市
低温高湿度空間と電磁波を用いたハスカップの生食用としての長期保存による商品価値の向上に向けた技術開発	フードテクノエンジニアリング(株) 苫小牧市
セミオーダーインソールの製品開発	(有)シフトアップ・インヴィクタス 千歳市
★ 技術開発の芽育成助成事業	
製造加工によるビタミン減衰防止に関する基礎研究（コーティングビタミンの有用性検討）	M F フィード(株) 苫小牧市
ピノノワールを使用した高付加価値の36ヶ月熟成北海道産スパークリングワインの開発	北海道中央葡萄酒(株) 千歳市
★ 製品開発助成事業	
安平産ワイン及びワイン搾りかすを利用したチーズの開発	(有)プロセスグループ夢民舎 安平町
★ ひとづくり・起業支援事業	
自然と遊ぼう！エコ遊び！・発明&デザイン 地域宝おこし	苫小牧発明研究会 苫小牧市
安平町誘致企業会「経済セミナー」～北海道の明日を創る～	安平町誘致企業会 安平町
★ 市場拡大等助成事業	
ビジネスEXPOへの出展（札幌市）	(株)岡田建具製作所 他 4社
スーパーマーケット・トレードショーへの出展（千葉市）	(株)肉の山本 他 7社
COMNEXT-次世代通信技術&ソリューション展（東京都）	フォトリックサイエンステクノロジー(株) 1社
★ 技術者等育成事業	
技術研修助成事業	受講者 合計 93名
技術人材研修助成事業	(株)FJコンポジット 他 3社
専門家派遣助成事業	(有)プロセスグループ夢民舎 1社

※事業別助成件数の推移

(年度/件数)

事業名	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
新技術・新製品開発助成事業	4	4	4	3	4	4	4
技術開発の芽育成助成事業	2	4	4	1	4	3	2
製品開発助成事業	1	1	1		1		1
地域資源活用助成事業		1					
地域ものづくり助成事業（2023年度より上記事業に統合）		1	1				
ひとづくり・起業支援事業	2	2	1	1	2	2	2
地域特産品プロジェクト等助成事業		1					
市場拡大等助成事業	18	14	9	10	9	9	12
技術研修助成事業（受講者数）	106	131	23	46	64	111	93
技術人材研修助成事業	1	1		2	2	5	3
専門家派遣助成事業	2				1		1

財 団 助 成 事 業 紹 介

【事業名：出力切替機能付多段式窓下ヒーターの開発】



株式会社 ナカガワ工業

■会社概要

設 立：1991年(平成3年)10月
 代 表：代表取締役 中川 富雄
 住 所：北海道恵庭市大町2丁目4番1号
 電 話：(0123)32-6111
 業 種：小型家電ヒーター製品の製造・販売
 (窓際・トイレ・足元ヒーター)
 U R L <https://nakagawakougyou.net>

当財団の「2023 年度 新技術・新製品開発助成事業」において、(株)ナカガワ工業が実施した「出力切替機能付多段式窓下ヒーターの開発」について担当された中川慎一さんにお話を伺いました。

◇御社の業務について御紹介ください

弊社は、1991年10月に創業し、創業当時、電子部品の組立を手始めに、主にオルゴール、万華鏡の組立を手掛けました。現在は「省エネ・安全・安心」で“快適な暮らし”を商品コンセプトに、結露対策の『マルチヒーター』、足元ヒーターの『アシリ』、トイレのヒートショック対策『イコロ』を主力商品として、高品質の部材を国内調達し、製品開発から組立まで弊社で一貫生産するほか、オーダーメイドにも対応し、販売会社を介してTVショッピングやネット・カタログ通販などを行っています。



弊社販売商品の一例

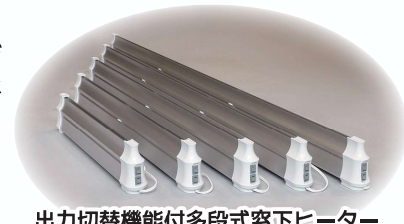
◇出力切替機能付多段式窓下ヒーターの開発を目指した理由をお聞かせください

従来の結露対策品『マルチヒーター』は、使用する地域や気温変化によってパワーアップを求めるユーザーの声もあり、モデルチェンジの構想を模索していました。室内環境などに合わせて、出力変更ができるスイッチ機能付の製品開発を目指すとともに、特に、サイズや性能、デザイン性を重視して開発に当たりました。

開発段階では、内部のヒーター部をストレート形状から湾曲したパネル形状に変更し、対面パネルの煙突効果と輻射熱で性能向上を図るほか、スイッチの色、形状、構造、レイアウト及び使い易さを徹底して追求しました。

◇本技術開発の成果を教えてください

パネル本体を上段と下段に分離した構造にすることによって、従来品より大幅な性能向上が図られ、開発製品を窓際に設置した実験では、外気温が-10℃でも窓面の結露を防止し、窓から侵入する冷気（コールドドラフト）を遮断、すきま風をカット、健康面に影響のある黒カビ発生の防止にも効果が得られました。更に壁際、寝室、机下など多用途を兼ね備えた2way方式と曲線美のデザインは、高評価が得られるものと考えています。



出力切替機能付多段式窓下ヒーター

◇今後の予定・展望などを聞かせてください

本製品開発に携わった工業デザイナーや商品開発支援機関各位、弊社スタッフが「ワンチーム」として培った技術と経験をもとに、今後も市場ニーズに応じた新製品の開発を継続するとともに、「省エネ・安全・安心」を念頭に、蓄積したノウハウ等を駆使してユーザーや環境にやさしい製品づくりに取り組んでいきたいと考えています。



弊社の製品開発チーム

公益財団法人 道央産業振興財団は、 道央地域の“ものづくり”を支援します

《苫小牧市・千歳市・恵庭市・安平町》

『ものづくり』に取り組む企業の皆様に、様々な支援や技術者の育成を通じて、企業力向上のお手伝いをしています。

☆技術コーディネーター

技術力及び生産性向上に向けて、各種補助制度の紹介と申請支援などを行っていますので、ぜひお問い合わせください。



ナカ ノ ジュンイチ
中野 純一



カメ ダ オサム
亀田 修



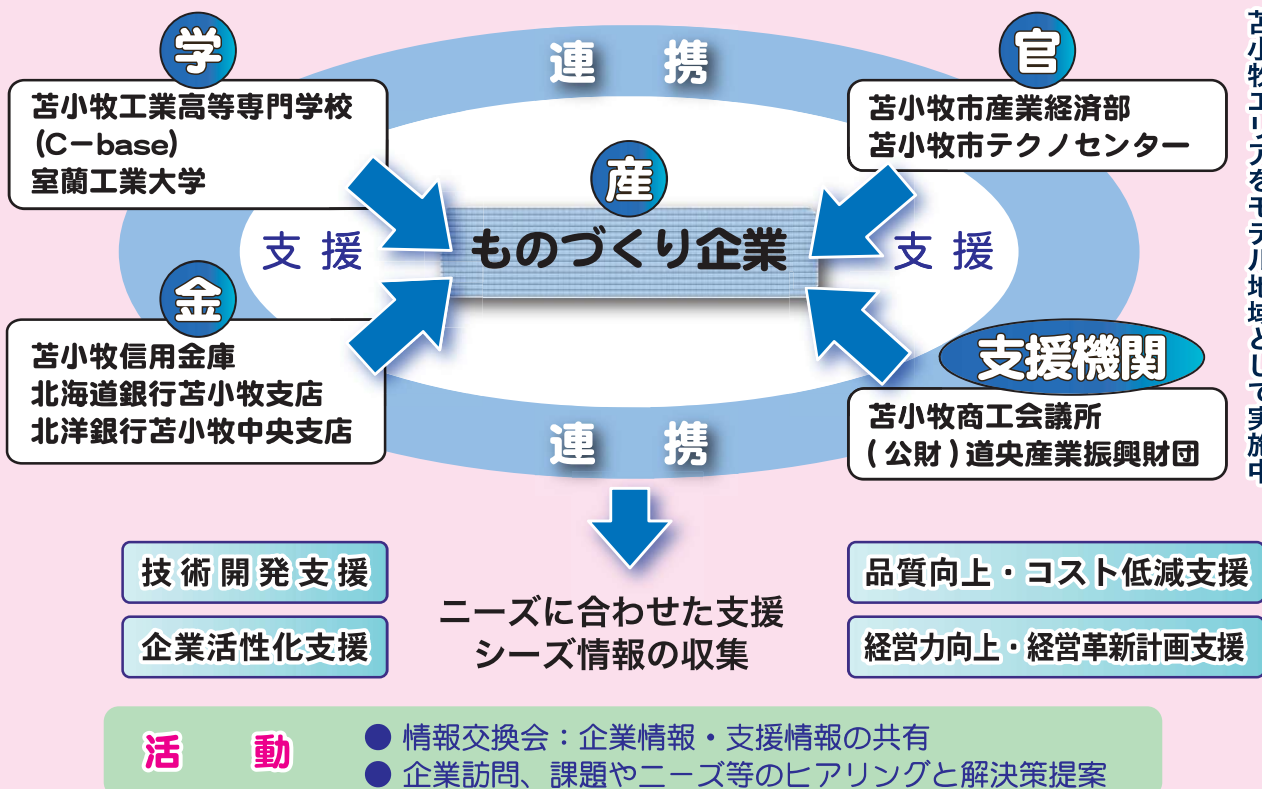
アラ カワ セイ キ
荒川 聖樹

☆業 務 部

技術開発・製品開発・人材育成等の財団助成事業の窓口です。

GKK（ものづくり企業活性化チーム 学・官・金 - 道央圏）

学・官・金の実務担当者がチームを組み、ものづくり企業（道央圏域）の技術支援、各種支援制度の活用、技術情報の提供をはじめ、様々な御相談に応じています。



苫小牧市テクノセンター

地域企業の技術力向上と工業技術高度化への支援を行っています。

- 研 究 開 発 支 援 …… 企業が必要とする新製品、新技術の研究開発を推進するための技術的支援
- 試 験・検 査・証 明 …… 企業からの依頼による材料試験、精密測定、非破壊検査の実施と成績書の発行
- 設 備 機 器 の 開 放 …… 設備機器の取扱指導及び利用開放
- 技 術 指 導・相 談・研 修 …… 技術力向上に資するための相談、指導、研修
- 産・学・官 交 流 …… 企業と大学・工業高等専門学校及び公的試験研究機関との連携
- 情 報 受 発 信 …… 工業技術に関する資料、専門図書及び試験・研究・製品の資料整備と提供

令和6年度 更新機器

精密高速旋盤

型式 TSL-550 (株) TAKISAWA 製



【装置概要】

◇回転させた材料に刃物を突き当て、円筒形状に削り出す加工機械です。

【用途】

◇主に金属材料の加工に使用します。外径加工、内径加工、ネジ加工、テーパ加工等が可能です。

【特徴】

◇基本機能に特化した操作が簡単な汎用旋盤です。労働災害を防ぐ各種安全装置を備えており、初心者向けの操作訓練にも適しています。

【仕様】

◇工作物の最大寸法：直径 210mm×長さ 550mm

苫小牧市テクノセンター

所在地：〒059-1362 苫小牧市字柏原32番地の27

電 話：(0144) 57-0210・FAX (0144) 57-1122

URL：http://www.tomatech.jp・E-mail tomatech@tomatech.jp



地域の話

ソフトバンク(株)が 苫小牧東部地域で

大型データセンター建設工事に着手しました

通信大手のソフトバンク株式会社とその子会社は、苫小牧東部地域で大型データセンター(DC)の建設を行うため、土地造成などの工事を2024年10月15日に着手しました。

生成AI(人工知能)の普及やAGI(汎用人工知能)の進展によって超高速で大容量のデータ処理に膨大な電力消費が見込まれる一方、現在、国内DCの約8割が東京圏や大阪圏などに集中しているため、DCのレジリエンス(回復力)の強化、電力負荷の分散などが求められています。

このことから、高度なデータ処理能力を有する大規模な計算基盤環境を構築するため、苫小牧市に省エネ型の最新DCを建設するものです。

本DCの電源は、道内の再生可能エネルギーを100%利用することとし、同子会社及び北海道電力(株)から供給を受けながら地産地消型のグリーンDCで運用するとしています。



